

東朽網

学校教育目標

徳・知・体の調和のとれた
人間性豊かな実践力のあ
る子どもの育成

—こんな子どもたちに育てたい—

- 自分が好き・友達が好き・先生が好き
- 学校が好き・東朽網が好き
- やさしく、仲良く助け合う【いじめ〇】(徳)
豊かな心とたくましく生きる力をもつ子ども
- かしこく(知)
進んで学び、よく聞き、深く考え、表現できる子ども
- たくましく(体)
体力づくりに励み、健康でたくましい子ども

第2号 平成31年4月24日発行(文責)校長 井津 京香

さわやかな初夏の風が、校庭の若葉を揺らす、気持ちの良い季節を迎えました。1学期がスタートして約2週間経ちましたが、子どもたちは新しい学年・学級で過ごすことへの期待に胸をふくらませながら勉強に運動に精一杯頑張っています。先日は、お忙しい中ご参観いただきましてありがとうございます。子どもたちは、いつも以上に張り切っていましたし、とても心地よい表情で学習に向かっていました。保護者の方の温かいまなざしと励ましが、子どもたちのエネルギーになっています。



お話広場のみなさん
による 読み聞かせ

子ども読書の日 4月19日(金)

ブックネットワーク北九州の先生とお話広場のみなさんが、ブックトークをしてくださいました。高学年は、まず、「どうして読書をするのか」について教えていただきました。

読書の四つの世界

学びの国(インフォメーション) 読書をする、ただ知るだけでなく、ちゃんと理解し、学んだことを組み合わせ、使役することができる。一生学び続けていく人は、応用する力が身に付いていく。

成長と感動の国(インスピレーション) 読書は、人間的に中身を成長させてくれる。本の中でたくさんの人と出会い、対人関係・友達関係を学ぶ。主人公の経験を自分の経験として受け入れ、お話の中でたくさん経験しておく、場面に応じて考える練習ができ、適切な対応・行動ができるようになる。

遊びの国(レクリエーション) お話の中で遊ぶことができ、心の癒しになる。

人とつながる国(コミュニケーション) 読書をして、いろいろな人と話をする、目には見えないこと(どんなことを考えているのか・どんなことを思っているのか等)を知ることができ、いろいろな人とつながることができる。そして、「心の友」をつくることができる。また、友達と同じ本を読んで、「どう考えたのか」を共有することで、その人の中身が見えてくる。

「図書室の本を読もう！」というテーマで、低学年・中学年・高学年の発達段階に応じた絵本や昔話・読み物との出会いを紹介してくださいました。「昔話を読むと、生活の中でのたくさんの知恵を学ぶことができ、生活のルールやマナーも学ぶことができます。」と。子どもたちは、本のあらすじを聞き、お話の世界に引き込まれていました。

学級では、お気に入りの本を読んだり、担任による読み聞かせを聞いたりしました。1年生は、体育館で6年生に絵本の読み聞かせをしてもらいました。6年生は、1年生の表情を見ながら、声の大きさや読む速さを変えて、工夫して読み聞かせていました。1年生は、静かにお話を聞き、本の世界にどっぷりと浸っていました。

「読み聞かせ」は、「今はあなたのためだけの時間・あなたのために」が伝わり、よりよい関係を築くことができるそうです。

ご家庭でも、ぜひ、お子さんと一緒に、「家読」をしてあげてください。

自分の大切な「いのち」は、自分で守ろう!

1年生 交通安全教室 4月18日(木)

小倉南警察署の方が交通ルールや自分の命を守るために気をつけること・横断歩道を渡るときなどに気をつけることなどについて分かりやすく教えてくださいました。DVDを視聴しながら「どうすれば事故に遭わなかったのか?」についてしっかり考えていました。その後、少年課の方から、友達と仲良くするために、言葉で伝えることの大切さについても教えていただきました。

今週から1年生だけで下校するようになりました。温かく優しく見守り、危ないときには注意していただきますようお願いいたします。



信号を守ります
飛び出しは しません
横断歩道を渡ります

「いかのおすし」の約束
知らない人に、ついていかない
知らない人の車に乗らない
大声を出す すぐに逃げます
大人に知らせる

6年生の感想

- とても興味をもって聞いてくれました。
- 面白かったと言ってくれて安心しました。
- 読み聞かせを始めると、絵を指さしたりしながら楽しそうに聞いてくれました。
- きちんと聞いてくれたので「すごいなあ。」と思いました。また読んであげたいです。
- 入学式の時より成長していてびっくりしました。遠足で、もっと絆を深めたいです。



5月の主な行事予定

8	水	1, 3, 6年生 内科検診
9	木	避難訓練(火災を想定して) 代表委員会(4~6年の代表)
10	金	クリーンアップ東朽網2校時 歯科検診・フッ素塗布(希望者)
13	月	運動会練習開始
14	火	心電図 1年生と市外転入生
15	水	眼科検診 1年生・対象者
17	金	検尿(1回目)
24	金	検尿(2回目:未提出者のみ) 運動会準備(午後)
26	日	第37回運動会
27	月	運動会の代休
29	水	運動会予備日
31	金	検尿(3回目:再提出のみ)

児童の大切な命を守るための交通安全指導のお願い

10連休を控え、子どもたちの安全を確保するために、下記の内容について、ご家庭でも必ず指導してください。

自分の命は 自分で守る・・・10連休を安全に過ごすために・・・

たった一つしかない大切な命です。
交通事故には十分気を付け、自分の命は自分でしっかり守りましょう。

自転車の安全運転の3つの原則

【原則1】「自転車は車両」

【原則2】「自転車の仕組みと点検の大切さ」

【原則3】「体と命を大切に」する乗り方・交通ルールを守ること

北九州市内では、子ども達が、自転車やキックボードなどに乗ることが多く、車と接触してけがをするという事案や運転を誤り、歩行者にぶついたり壁にぶつかったりして大けがをするという事案が発生しています。

学校でも、継続して指導を行っていきますが、ご家庭でも、下記の内容について、繰り返しご指導いただきますようお願いいたします。

道路で乗ってもよいのは、4年生で、自転車教室の学習をして、これらの約束やルールが守れるようになってからです。(東朽網小学校のきまり)

今年度は6月に予定していますので、今は、道路で乗ってもよいのは、5、6年生のみです。

自転車事故は、なぜ起きるのか？ 安全な乗り方とは？

- 体に合った自転車に乗ってる？ 自転車は倒れやすい。もし、倒れたときに、自分の足で支えられる？
- 安全点検は大丈夫？ ブレーキ点検・タイヤの空気・ハンドルは、車体に対して直角・ライト・反射板は？
- 必ず、ヘルメットをかぶること 大事な頭を守るため

正しく使おう 間違った使い方はしてはいけない！

ハンドルは両手でもつ(片手運転・手放しはダメ)
お尻をつけて座って運転する(お尻離しはダメ)
ペダルに足をきちんと付ける(足離しはダメ)

ブレーキ点検しよう！ いざという時に、止まらない
・軽く握っただけで、ピタッと止まらなければ、⇒危ない！
・ブレーキは、左⇒右 の順にかける

自転車事故で一番多いのは、飛び出し

- ・急に飛び出すと、危険を回避できない。
- ・曲がり角や公園、店から出るときは、
⇒一旦停止
⇒左右の安全確認

車道を走るときのルール

- 自転車は、車道の左端を通る。
 - ・友達と走るときは、一列になって走る
 - ・一旦停止して、安全確認
- 歩道を走るとき(12歳以下は通ってよい)
※歩道は、歩行者優先
「特別に道を譲ってもらっているんだ」という気持ちをもって、譲り合う、思いやりの心をもって運転する
- 交差点を走るとき
 - ・横断歩道は、車道の上。急に車がくるかもしれない
 - ・歩行者がいるときは、歩いて押して渡る

もし、自転車で人や物にぶつかったら、かならず止まって、状況をたしかめて、お家の人や近くの大人に、すぐに言いましょう。
※自動車がぶつかった場合は、ナンバーを覚えておきましょう。

歩行者にけがをさせたら、加害者になる。
小中学生だからといって、許されない。
責任をとらなければいけない。

- ・横断歩道のないところは、渡らないようにしましょう。
- ・細い道で横断歩道がないところは、右左をよく見て、車が来ていないことを確かめて渡りましょう。
- ・曲がり角では必ず止まって、右左をよく見て、車が来ていないことを確かめてから渡りましょう。
- ・キックボードやスケートボードなどは、安全な場所で気を付けて乗ります。
道路では、乗ってはいけません。
- ・自動車は、急に止まることはできません。車に気を付けて歩きましょう。
- ・道路では、ふざけて遊んだり、飛び出したりしないようにしましょう。
- ・道路を歩くときは、横に広がったりふざけながら歩いたりしないようにしましょう。